

\$\$明星(白川小だより)\$\$

HPで『白川小だより』
をご覧ください。
白川小学校で検索を!

令和2年1月17日発行
第49号
文責:三谷



『であい、ふれあい、そして未来へ』~自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成~



\$ 忍者の里への歴史探訪 \$ ←1月16日(木)

4年生の子どもたちが、社会科学習の一環として伊賀市へ社会見学に行ってきました。現地では、組みひも体験(経巻、華籠等の仏具・神具・武士の甲冑や刀の紐等に使用されていました)かた焼(硬い^{おろし}で、忍者の携帯用非常食と言われています)試食及び崇広堂、県立上野高等学校旧校舎、芭蕉翁記念館、伊賀上野城、俳聖殿、忍者博物館、旧小田小学校を見学してきました。伊賀地方の歴史や伝統文化について直接体験したり、見たり、触れたり、食べたりすることで、自分自身の学びとして学習をしてきました。



組みひも体験



かた焼き



忍者屋敷



旧小田小学校

\$ きれいな虹に迎えられて登校 \$ ←1月10日(金)

先週金曜日の朝、鈴鹿風が吹いて肌寒く、少し時雨れていましたが、登校時にきれいな虹が架かっていました。虹の根本が学校の近くから出ているようで、大きく見えていました。お家の方と子どもが虹の色を確認し合いながら、登校する姿が微笑ましく感じるひとときでした。

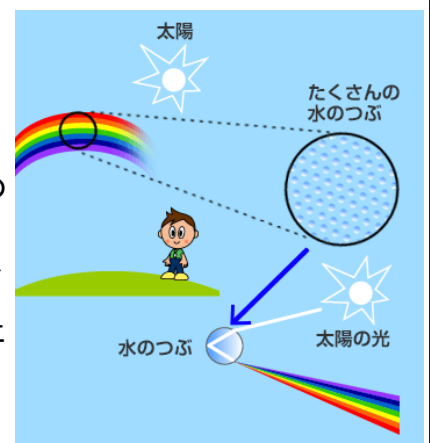


= 白川小コラム =

太陽の光は、白っぽい色をしているために、白色光(はくしょくこう)と呼ばれています。しかし、本当は、赤・橙(だいだい)・黄・緑・青・藍(あい)・紫(むらさき)といった7色を中心にいろいろな色がまざり合ってきた光です。

虹は、空気中の雨粒(水滴)が太陽の光を七色にばらばら(分解)したものです。つまり、その光が、雨雲の雨の粒に当たると、もともとの色に分かれてわたしたちの目に見えてきます。ちょうど、雨雲の雨の粒が、プリズムと同じ働きをしているからです。(プリズムとは、ガラスでできている三角形のぼうのことですが、これを使うと、光を何色にも分けて見ることができますよ)

光は、それぞれの色によって、曲がる(屈折)角度がちがっています。そのために三角になっているプリズムや、プリズムに似た形の雨の粒に光が当たると、何色にも分かれて見えるようになるのです。わたしたちが、空にきれいな虹を見ることができるのはこのためです。



＄ 学校運営協議会(CS)研修会 －1月 16 日(木)

市内小中学校の担当者と地域の方が一同に集まり、2回目のコミュニティースクールの研修会があいあいで行われました。第1回は「未来を生きる子どもたちのために～コミュニティースクールをすすめよう～」という演題で、松阪市の学校づくりサポーターの方からコミュニティースクールの意義等のお話を聞きました。現在市内小中学校で9校がコミュニティースクールに取り組んでいます。今回は、その中で、加太小学校と神辺小学校の具体的な取り組みについての発表がありました。

本校も昨年度からコミュニティースクールとして体験活動を中心に地域の方とともに取り組んでいます。体験学習を通じて、これからの時代を生きていく子どもたちにとって、学習面・生活面を中心としてたくさんの学ぶべきところがあると考えます。また、地域の方との会話を通して、人間関係づくりの基本であるコミュニケーション力をつけてほしいと考えます。今後ともご理解・ご協力を宜しくお願い致します。

○体験学習 with 地域の方々、家族から学ぶこと○

各学年の子どもたちは、1年間を通じて地域の方や保護者の方々から多大なご協力・ご支援を受け様々な体験学習(活動)に取り組んでいます。未来の地域を担う子どもたちにとって有意義な活動でもあり有益な学習でもあります。

また、地域の方とふれあうことで、人の温かさを感じとり子どもたちの心の成長にも繋がっています。しかし、最近のニュースを見ていると、命が軽んじられるニュースをたくさん見聞きします。あらためて、命の大切さについて考えてみる必要があるのではないでしょうか。子どもたちは自然の中で、生き物と接しながら「命」というものを知り、徐々にそのすばらしさ、尊さを学習していきます。そして、さらに学習を進めていく中で、自然界での命の連鎖を学び、そして社会でのそれぞれの役割の尊さを学び、命とはとても大切な物だということをおぼえていくはずで



しかし、最近自然の中で学ぶ機会は減り続け、ゲームの中では登場人物が簡単に死んでは生き返り、多くの大人たちが忙しさの中で大事な物を忘れがちになっているのではないのでしょうか。命の大切さを理解できたら、自分を大切にし、そして他人を大切にできるようになっていくはずで。そうなれば、「自分にされていやなことは他人にしない」という言葉も必要なくなっていくのでしょうか。学校では、これからも体験活動を大事にし、命の大切さ、なかま、地域・家族の大切さを教えていきたいと思

＄ キャップアートの力作を展示 －1月29日(水)～2月2日(日)

エコーにおいて、上記の期間特別支援学級作品展がおこなわれます。お時間がある方は、お買い物の際などにお立ち寄りいただき、子どもたちの作品をご覧ください。



＄ 7名の卒業生が大人としての第一歩を －1月 12日(日)



先日(12日)に市成人式が文化会館で行われました。今年成人となる人は1999年(平成11年)生まれの人で、市全体で493名が該当します。その中には、本校の卒業生7名もいます。

数年前より実行委員会形式で行われており、代表10名の方が事前に打合せ等をして、当日の運営にのぞみました。第1部は式典で厳粛な雰囲気の中執り行われました。また、第2部では恩師の先生からのお祝いビデオメッセージが流れました。学生時代の先生が映し出されると、会場からは笑みが漏れるような和やかな雰囲気の中、成人式を終えました。